

令和3年9月定例会市議会市政報告

令和3年第4回釧路市議会9月定例会の開会にあたり、6月定例会市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

まずもって、市民の皆様、事業者の皆様、そして釧路市医師会、釧路歯科医師会、釧路薬剤師会をはじめとする医療関係者の皆様には、感染拡大の防止に多大なるご協力をいただいているところであり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

釧路総合振興局管内の感染状況につきましては、6月は67名、7月は42名、8月は過去最多となる295名と、7月末から増加している状況であり、釧路市内でのクラスターも8月に4件発生しております。

また、釧路市におきましても、感染力が強いとされる変異株への置き換わりが進んでいると言われていたところであり、基本的な感染予防の徹底が重要となっております。

こうした中、市では庁内における対策本部会議を随時開催し、感染拡大の防止に取り組んでまいりました。北海道の対策方針を踏まえ、感染状況を勘案しながら市有施設の利用制限を行うなど、対応してきたところであります。

新型コロナワクチン接種につきましては、65歳以上の方は、8月30日時点で、1回目の接種を終えた方が52,143人、接種率89.0%、2回目の接種を終えた方が50,372人、接種率86.0%となっております。

なお、高齢者施設入所者につきましては、接種希望者全員が8月2日までに2回目の接種を完了したところであります。

64歳以下の方の接種の日程につきましては、8月9日から基礎疾患を有する方の予約を開始、8月16日から接種を開始しており、その後順次、60歳から64歳まで、54歳から59歳までの方、52歳、53歳の方について、接種を開始しております。

また、50歳、51歳の方は9月2日から予約を、9月3日から接種を開始し、妊婦の方は9月3日から予約を、9月6日から接種を開始いたします。妊婦の方と同居している配偶者またはパートナーの方につきましては事前登録制となっており、予約のご案内は随時発送いたします。49歳以下の方につきましては9月下旬以降、順次予約及び接種を開始する予定となっております。

接種体制につきましては、市内52か所の医療機関にご協力をいただくとともに、9月13日から、新たに釧路フィッシャーマンズワープMOO5階の多目的アリーナに特設会場を開設し、最大1日約600回の接種体制を増強することにより、11月末までの接種完了を目指してまいります。

なお、この特設会場の開設時期につきましては、当初9月1日を予定しておりましたものの、ワクチンの供給状況を勘案した結果、9月13日から開設することとしたものであ

ります。

報告の第2は、「**長期滞在事業の令和2年度実績**」についてであります。

令和2年度における釧路市の長期滞在の受入実績は、1,161組1,644人、延べ滞在日数17,445日でありました。

過去最高を記録した令和元年度と比べると、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、滞在者数は約25%減少したものの、毎年一定期間を釧路で過ごされるリピーターの方々をはじめ、GOTOトラベル事業の影響等により、コロナ禍においても多くの方にお越しいただき、感染防止対策をしっかりと施した中で安心してご滞在いただけたものと考えております。

この実績は、平成20年度に集計をはじめてから過去2番目に多い結果で、8月に発表された北海道体験移住「ちょっと暮らし」事業実績においては、10年連続となる道内第1位を獲得しました。

釧路市の長期滞在事業では、夏の猛暑から逃れて「涼しい釧路」で過ごすことを毎年楽しみにしていらっしゃるリピーターの方が増えております。そういった方々から、コロナ禍においても、感染状況を踏まえながら例年より短い期間であっても、食文化や自然環境を満喫するため釧路で過ごしたいという声が多数寄せられたことが、実績にも繋がっております。釧路の冷涼な気候や食などの様々な魅力が持つ可能性の高さを改めて実感しているところです。

今年度の長期滞在事業については、新型コロナウイルス感染症により依然として厳しい状況が続いておりますが、長期滞在者の更なる増加に向けて、くしろ長期滞在ビジネス研究会と連携して受入環境の充実に努めて参ります。

報告の第3は、「**工事発注状況**」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約125億5千万円となっており、8月24日現在における発注済額は約108億4千万円であり、発注率は、86.4%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約95億6千万円、率ではおよそ88.2%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約59%、上水道事業で約80%、下水道事業で約89%、住宅建設事業は約98%の状況となっております。今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。